

この点字文は、神戸大学医学部附属病院医療情報部の研究班が、
総務省・戦略的情報通信研究開発推進制度（SCOPE）により研究開発している
自動点訳プログラム eBraille によるダイレクト点訳で作成しています。
このため、点字文は希に誤訳を含む可能性があります。各自の責任で利用ください。

「消化器 感染症（ノロウイルス、

口タウイルス

感染など）」

発熱、腹痛、おう吐、下痢などが主な

症状です。

予防のために

手洗い用の水が確保できる

ところでは、手洗いを積極的にしましょー。

水のない環境では難しいかも

しそませんが、特にトイレの後や食事の

前、あるいは子どもや高齢者の排泄

介助の後にはできるだけ手洗いを

しましょー。

特に水がない場合は、アルコール

製剤による手指衛生を確保し、

アルコール製剤は、まず消化器

感染症の予防のため、トイレ後及び

食事前に使うことを優先して

ください。

食事では、生ものの摂取を可能な

限り控えてください。

症状が現れた場合（発熱、

腹痛、下痢など)には、脱水予防と

対症療法が主となります。特に、

小児では脱水による全身

症状の悪化が起りますから、水分を

こまめに少量ずつ補給することが

必要です。